

西尾市地区別防災カルテ

①基本情報

地区No	11
地区名	平坂小学校

●地区の概況

市西部の矢作川左岸沿いに位置しており、矢作川と平坂入江に挟まれた平地に農地が広がっている。平坂入江の東側に住宅が密集しており、入江の西側は、西小柳町、小栗町の集落が点在している。北部には主要地方道岡崎碧南線が東西に走っており主な交通路となっている。また中央部には、国道247号が一色方面（南側）から碧南方面（西側）に走っている。

●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	3128 世帯	
65歳未満	6673 人	78.0 %
65歳以上	1848 人	21.6 %
合計	8560 人	

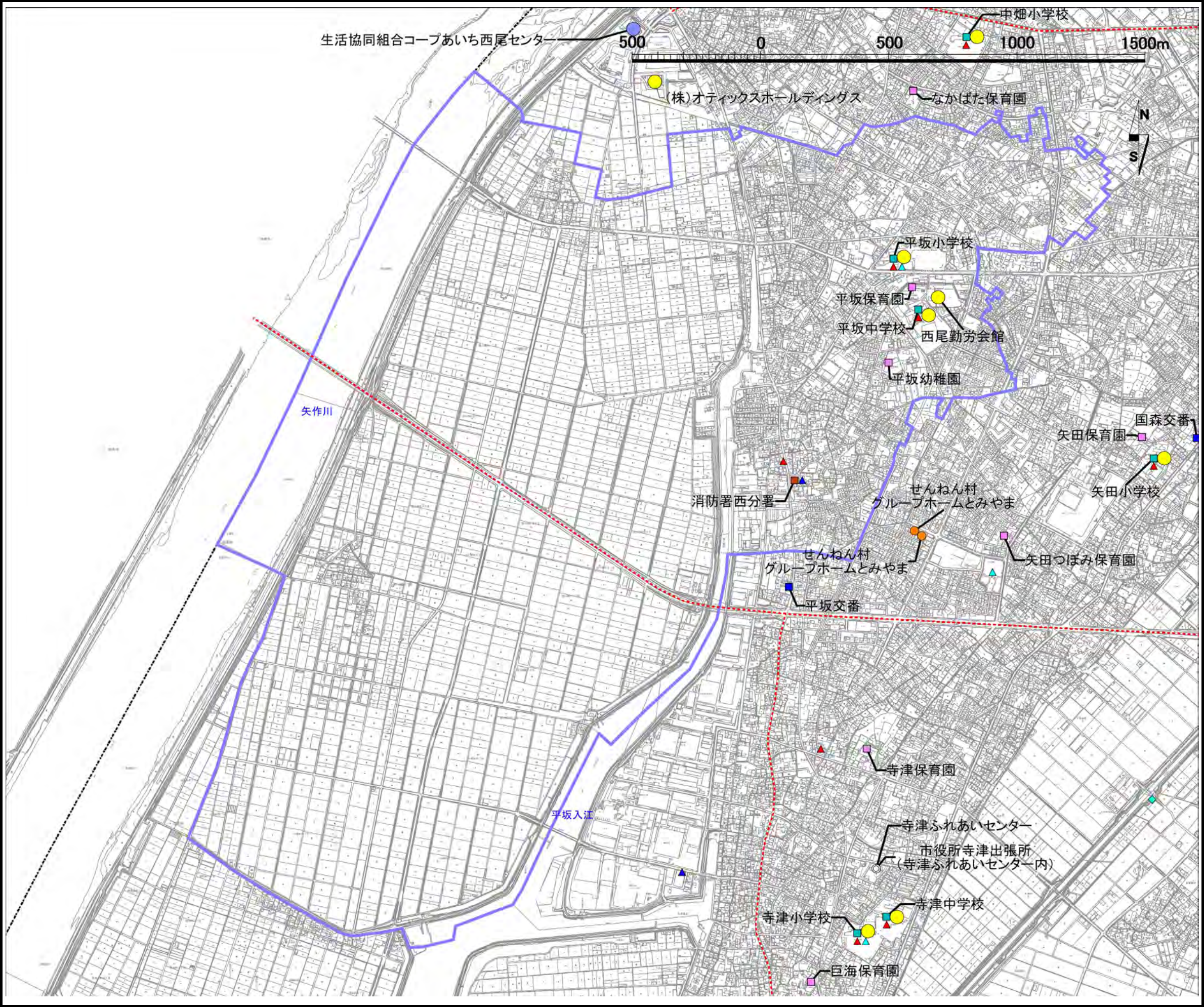
※合計値は年齢不詳の人口も含む

●地区の課題

矢作川と平坂入江に挟まれた地域と平坂入江の東側は洪水、津波、高潮のいずれにおいても浸水の危険性が高い。地区北東部も、洪水時は浸水のおそれがある。地区南西部に点在する集落は、指定避難所までの距離が長い。平坂入江に架かる橋梁は、液状化等の被害を受けて使用できなくなるおそれがあるため、その場合は岡崎碧南線まで北上する必要がある。その他、住宅密集地では地震時の建物倒壊や延焼火災等の被害が発生するおそれがある。

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所	学校
津波一時待避所	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

②洪水被害・土砂災害

地区No	11
地区名	平坂小学校

●地区別大雨等被害の特性

矢作川と平坂入江に挟まれた地域、平坂入江の東側、地区北東部において浸水が想定されている。
地区北東部に指定避難所が3箇所あり、そのうち西尾勤労会館は浸水想定区域に含まれており、他2箇所もすぐ近くが浸水想定区域である。
平坂入江沿岸東部の埋め立て地では過去の浸水実績が記録されている。

●避難環境評価

避難所収容者数	15533 人
避難者数	8206 人
最長避難距離	約 3.5 km

※避難所収容者数は洪水時のみの人数

●最大浸水深

対象全河川(重ね合せ)	5m以上10m未満
矢作川	5m以上10m未満
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	範囲外
朝鮮川	範囲外
矢崎川	範囲外
北浜川・二の沢川	範囲外
乙川	範囲外
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	0 箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	0 箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	0 箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	0 箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0 箇所

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(洪水・土砂時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所

学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

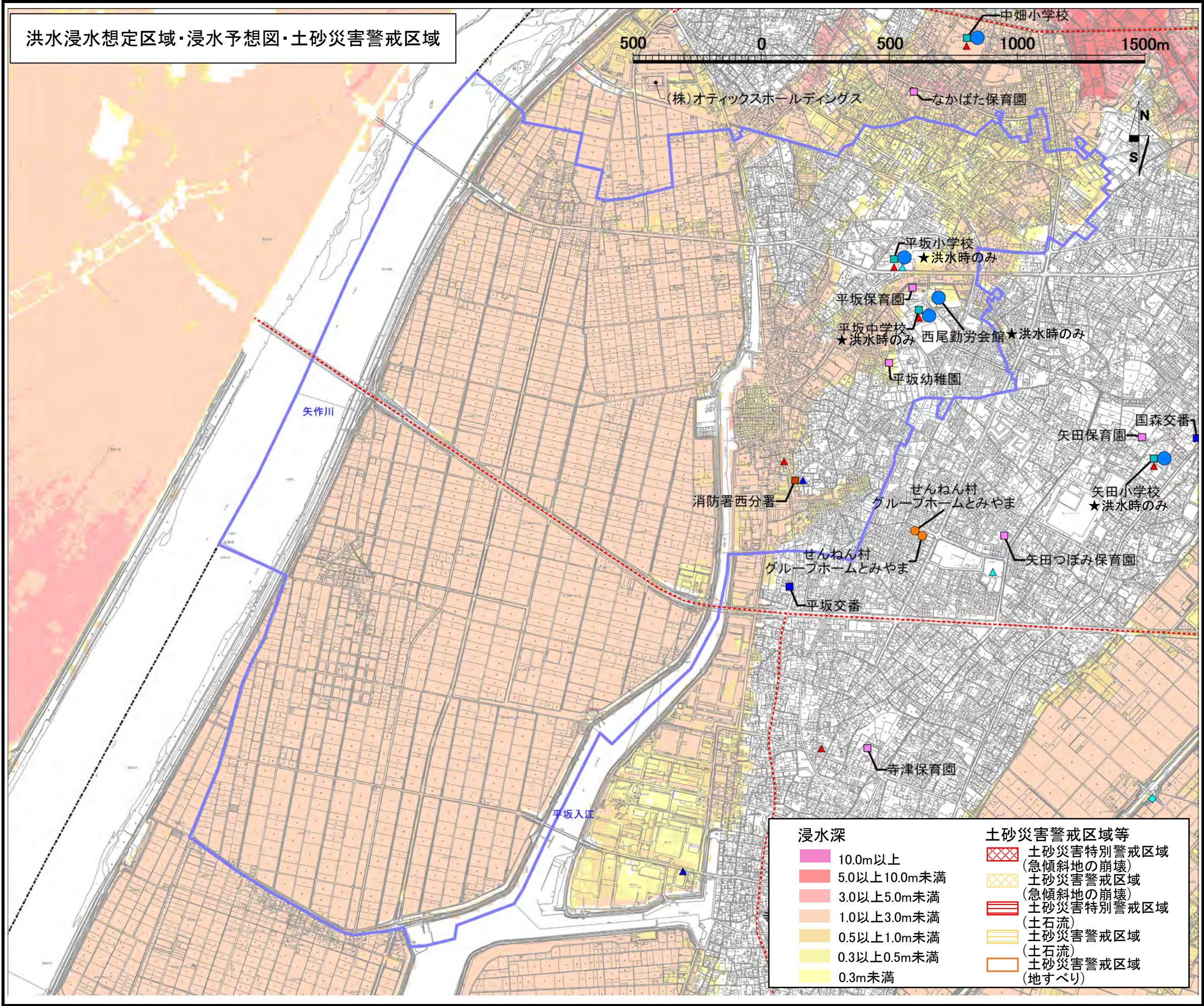
その他の施設

小学校区界

鉄道

市町村界

緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

③地震被害

地区No	11
地区名	平坂小学校

●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、ほぼ全域が震度6強となる。(下図参照)
矢作川と平坂入江に挟まれた平野部と平坂入江の東側や、緊急輸送道路である国道247号は液状化被害を受ける可能性が高い。
東部の住宅密集地では延焼火災の危険性がある。

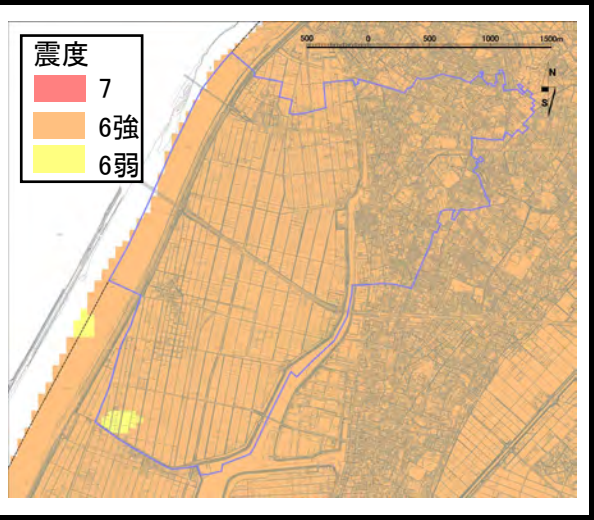
●避難環境評価 ※平成26年地震被害予測調査結果より

避難者数 ※津波による建物倒壊避難者も含む	3917 人
--------------------------	--------

●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

建物全壊数	864 棟
建物半壊数	887 棟
死者数	75 人
重傷者数	52 人

●過去地震最大モデル震度分布図

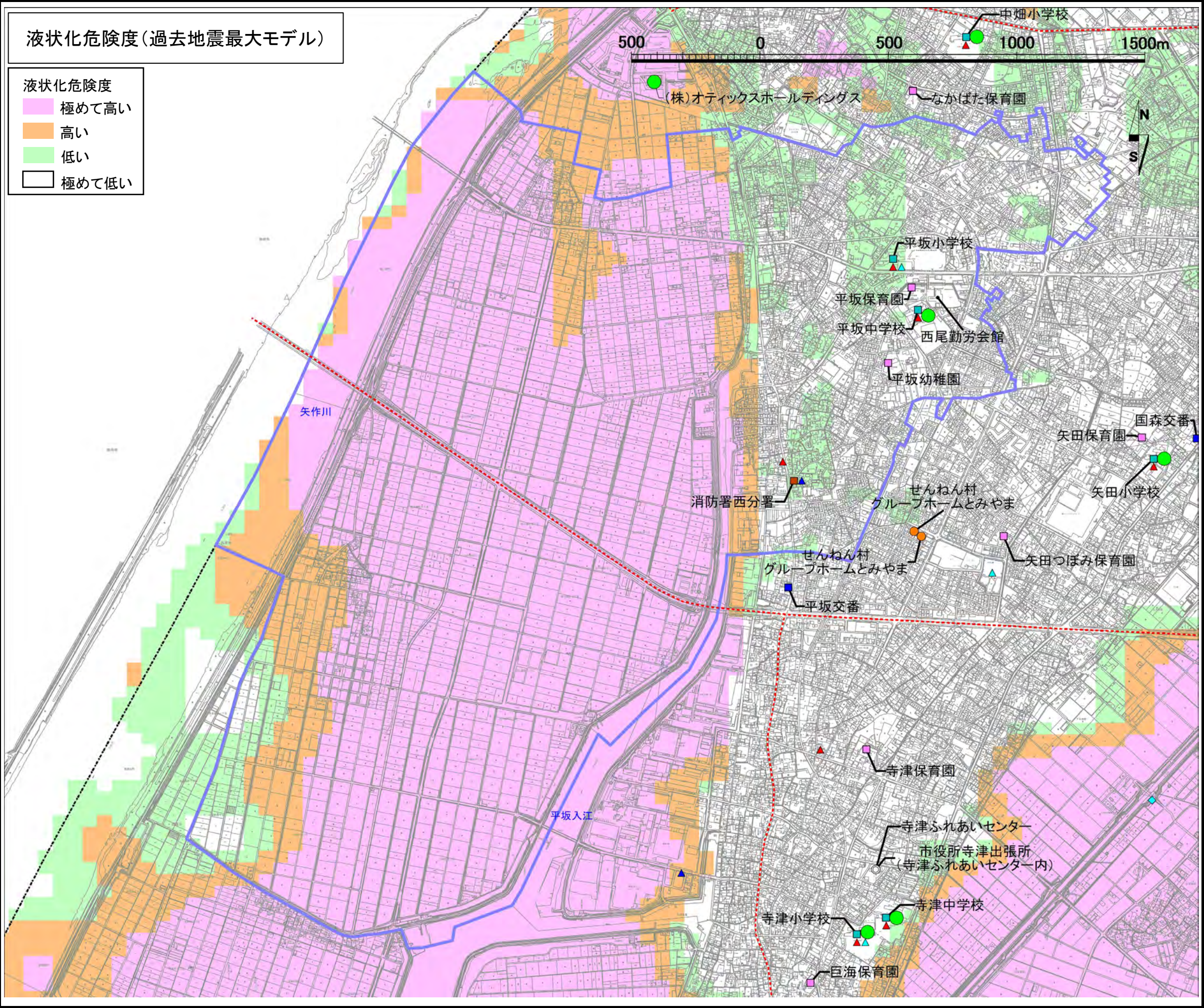


●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(地震時使用可)	学校
福祉避難所	幼稚園・保育園等
市役所・支所等	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
警察署等	水防倉庫
消防署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
救急病院	防災活動拠点
水位観測所	衛生施設
雨量観測所	その他の施設
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路

液状化危険度(過去地震最大モデル)

液状化危険度
極めて高い
高い
低い
極めて低い



西尾市地区別防災カルテ

④津波被害

地区No	11
地区名	平坂小学校

●地区別津波被害の特性

地区東部を除き、広い範囲が浸水深1m以上3m未満となっている。
地区内には津波一時待避所がなく、北東部にある平坂小学校や平坂中学校を目標に避難する必要があるため、一刻も早い避難が求められる。

●避難環境評価

津波一時待避所収容者数	0 人
避難所収容者数※1	5188 人
避難者数	7566 人
津波浸水想定区域外までの距離※2	約 3.6 km

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画(令和5年4月修正)に記載された校区のみ記載している。

●津波浸水深

最大クラスの津波の基準水位	
最大津波水位	3m以上5m未満
過去地震最大モデル(参考)	
最大津波浸水深	3m以上4m未満

●津波発生時の避難先

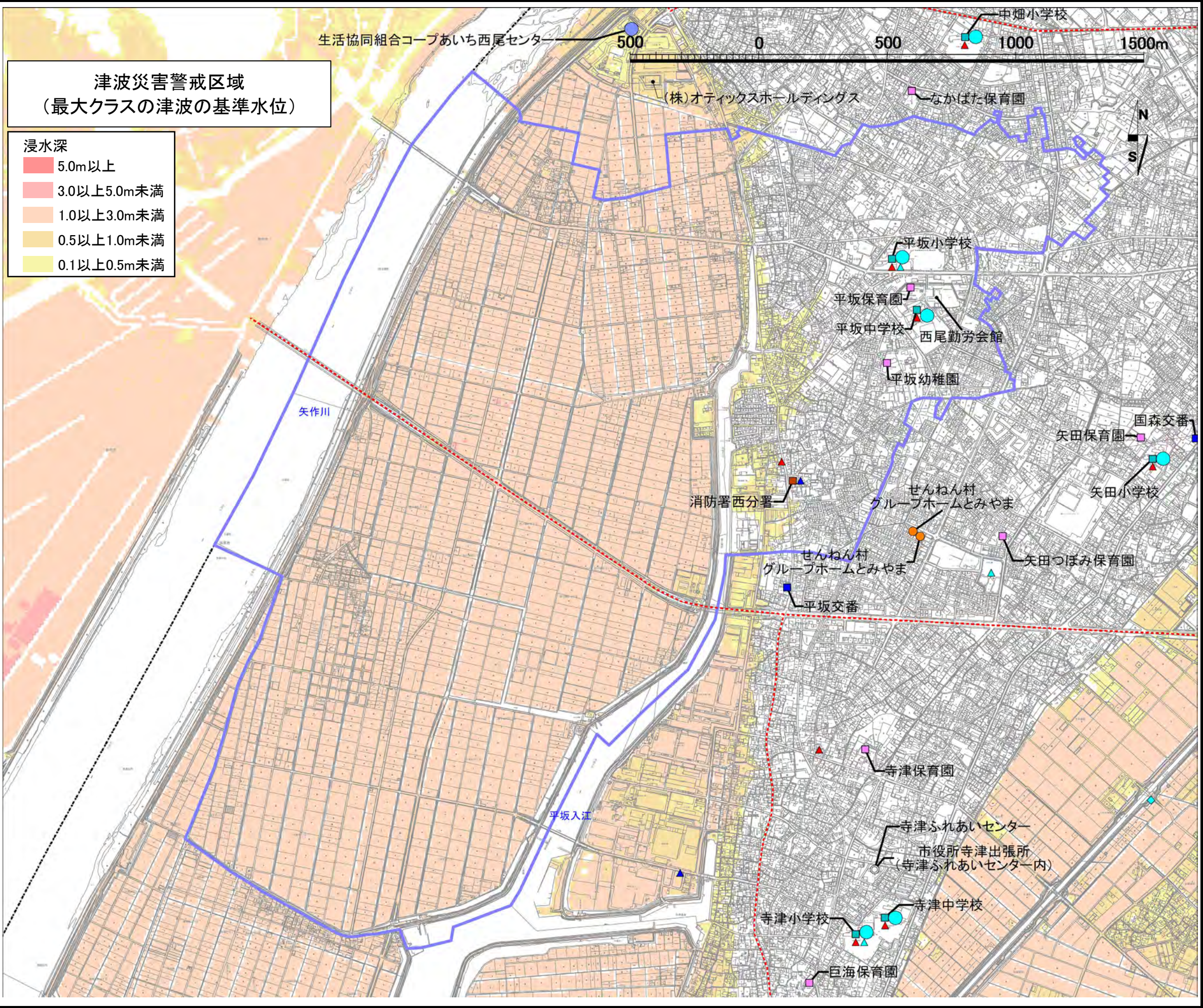
避難目標: 平坂小学校、平坂中学校

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(津波時使用可)	学校
津波一時待避所	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	● その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路

津波災害警戒区域
(最大クラスの津波の基準水位)

浸水深
5.0m以上
3.0以上5.0m未満
1.0以上3.0m未満
0.5以上1.0m未満
0.1以上0.5m未満



⑤高潮被害

●地区別高潮被害の特性

●避難環境評価

●高潮浸水深

●凡例

- 小学校区界 市町村界
 鉄道 緊急輸送道路

